

(まちの魅力を PR するモデル- 2)

**横浜市西区まち歩きアプリ「NISHIMARO DIARY」の開発及び運用について
(横浜市西区役所 × 学校法人岩崎学園 情報科学専門学校)**

〔事業概要〕

横浜市西区には、横浜ランドマークタワーや帆船日本丸などの有名な観光スポットが、みなとみらい21地区を中心に存在していますが、その他にも横浜の開港を支えた歴史資源や憩いの場所としておすすめの公園など、あまり知られていない魅力資源が多く存在します。

そこで、「粋なまちの歩き方」と称し、このようなあまり知られていない魅力資源を多くの方に知ってもらい、区内のまちの回遊性の向上や地域活性化につなげる取組を若者目線で考えることとし、情報科学専門学校と連携し、まち歩きアプリの開発を行いました。

開発にあたっては、オープンデータやその他西区に関連する資料を活用したほか、郷土史研究家の協力のもと現地調査を実施したり、市民の方に試作版の体験会に参加いただいたりするなど、使いやすいアプリとなるよう努め、平成28年5月にアプリの運用を開始しました。

また、同年11月～12月には、多くの方に使っていただくため、地元企業や店舗と連携して、当該アプリを使ったキャンペーン「アプリDEお散歩キャンペーン」を実施しました。

なお、アプリのデータ保守・管理は情報科学専門学校が行い、必要データの提供やアプリのPRは西区役所が行っています。

〔コラム〕

① サービスイメージやシステム構成

西区役所と情報科学専門学校が連携して制作したまち歩きアプリ「NISHIMARO DIARY」は西区のマスコットキャラクター「にしまろちゃん」が区内の魅力資源（スポット）を訪れて書いた秘密の日記を見つけるアプリです。スマートフォンのGPS機能と連動し、アプリの地図上にプロットしてある各スポットに行かないと日記が見つからない仕組みになっています。なお、秘密の日記が見つかる場所として、現在51か所が設定されています（平成29年2月末時点）。

アプリは、日記を見つける以外にも、スポットを訪れるごとに貯まるポイントでユーザー同士が競い合えたり、区内のおすすめ店舗を知ることができたりするなど、ユーザーの興味をそそる仕掛けになっています。

なお、このアプリのアイデアやプログラミングは、情報科学専門学校の学生が主体となって作っています。



【アプリ画面】



【開発した学生チーム】

アプリはApp StoresまたはGoogle Playからダウンロードできます。

にしまろ

で

検索

② 事業展開による効果・成果

アプリを開発・運用したことにより、地域企業や店舗と連携した地域活性化のキャンペーンを実施することができました（参加企業・団体13社、参加店舗27店舗）。

アプリのダウンロード数はリリースから10か月で約1200、各スポット（計51か所）への新規誘引は延べ約3800で、区内のまち歩きのツールとして多くの方に利用いただいています。

③ 事業展開のポイント

- ・他自治体においても、まち歩き系のアプリは数多く開発されていますが、行政と専門学校が連携し、アプリを開発・運用している点は本事業の大きな特色です。若者の視点でさまざまなアイデアが生み出される中で、ユニークなアプリが完成したため、新聞やラジオなど各メディアにも取り上げられ、注目度が高い事業となっています。
- ・開発段階では、市民向けに試作版の体験会を実施し、使いやすさやコンテンツの中身等について意見をいただき、その意見を踏まえて開発を進めました。
- ・アプリ運用後は、開発の目的に賛同する地元企業や店舗から、ユーザーを対象とした商品割引や協賛品の提供を受け、アプリを活用したキャンペーンを実施しました。キャンペーンを実施したことにより、ユーザーに対してお得なサービスを提供してもらおう一方で、協力企業や店舗のPRにもつながり、地域活性化の相乗効果が得られています。
- ・地元の学生が開発に携わることで、学生自身が地域を知るきっかけとなっています。また、学生が直接、地域社会へ貢献する体験が得られています。

<開発の取組経過>



【学生アイデア出し】



【現地調査】



【市民向け体験会（1回目）】



【市民向け体験会（2回目）】

〔サービス利用者の声〕

「アプリDEお散歩キャンペーン」のアンケートでは、利用者から「面白い」（51.5%）、「まあまあ面白い」（46.4%）と全体の約98%で高評価をいただいています。その他、アンケートでは以下のような意見も寄せられています。

- ・歩いて健康にも良くて、知らなかった地域の事も知れてとてもいいと思います。今後も続けて下さい。
- ・西区だけでは無く、いろいろな所でやりたい。近くで何回も前を通り過ぎていても見過ごしていた所が再発見出来て面白かった。
- ・いろいろな発見があって楽しくウォーキングできました。さらにスポットを充実させる形でアプリを継続してほしいです。 など



特集 3

各地域団体で取組まれている事例(新規掲載事例)の紹介

〔今後の課題と展開〕

キャンペーンのアンケート結果に基づき、今後も西区と情報科学専門学校が連携して、改良を検討していく予定です。また、今後も地元企業や店舗と協力しながら、当該アプリを活用したキャンペーンの実施を図ります。

（具体的なアプリの改良検討点）

スポットの追加や既存スポットの季節ごとの更新／飲食店以外の注目施設や店舗情報の掲載／イベント情報の掲載／近隣区等、対象エリアの拡大

〔導入費・維持費〕

行政、専門学校、地域企業・店舗それぞれの強みを生かした事業実施のため、大幅な経費削減が実現しました。

行政がもつ情報力と情報科学専門学校がもつ技術力により、当該アプリの開発・運用に直接かかわるコストは発生していません。なお、区役所が単独で同様のアプリ開発をした場合、開発費100～300万円、運用経費30万円／年が概ね発生する試算です。

〔問い合わせ先〕

- ・ 団体 横浜市西区役所
〒220-0051
横浜市西区中央1-5-10
- ・ 担当部署名：区政推進課企画調整係まちづくり調整担当
- ・ 電話番号／FAX番号：045-320-8328／045-322-9847
- ・ e-mail：ni-apply@city.yokohama.jp